

秘密保護法でこんな社会に...

その実態は

①お喋り弾圧法



②情報かくし法



③とことん秘密法



④知る権利封殺法



⑤私生活監視法



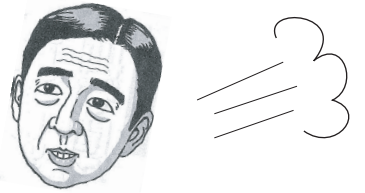
⑥戦争遂行法



日本平和委員会 2013年12月発行
一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
<http://j-peace.org/>
東京都港区芝1-4-9平和会館4階
TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277

安倍政権は国民の反対を押し切って特定秘密保護法の成立を強行しました。政府の持つ情報に網をかけて「特定秘密」にし、漏らした公務員だけでなく秘密を得ようとする人にも厳罰を科すもの。国民には何が秘密なのかも秘密。秘密主義と厳罰化で、「戦争する国」づくりを進めるものです。撤廃の声をあげましょう!

あまりに横暴！



安倍政権の暴走に ストップを！

秘密法
強行

新基地
押しつけ

秘密保護法は撤回を
——これが国民の声です

沖縄・名護市辺野古への
新米軍基地押しつけ

どんな世論調査でも国民の8割以上が慎重審議を求め、過半数が反対しているのに、安倍政権は国民の「知る権利」を奪う特定秘密保護法を強行採決しました。

同時にいま安倍政権は、力づくで沖縄に新たな基地を押しつけようとしています。名護市辺野古の豊かな海を埋め立て、墜落をくりかえす米海兵隊の海外侵攻機・オスプレイの拠点基地（普天間基地の代替基地）を建設しようというのです。

俳優の吉永小百合さん、藤原紀香さん、映画監督の宮崎駿さん、山田洋次さん、TVキャスターの田原総一郎さん、ノーベル賞受賞者益川敏英さんなど、広範な人々が反対の声をあげました。

しかし、沖縄の全自治体が普天間基地の撤去、県内移設反対を求めています。これまで沖縄の自民党県連も「県内移設反対」を掲げてきました。しかし自民党本部が沖縄県連に圧力をかけ、辺野古建設容認の態度を表明させたのです。

秘密保護法は、政府の一存で際限なく「秘密」を拡大でき、「秘密」を漏らしたり、知ろうとする者を、懲役10年以下の重罰に処するもの。

この強権的なやり方に、県民の65.4%が「評価しない」と答え、77%が普天間基地の「県外・国外」移設を求めています。知事が海の埋め立て申請を「承認しないほうがよい」は72.3%です。これが沖縄県民の声です（沖縄タイムス12月5日）。

「秘密軍事国家」をつくる、明らかに憲法違反の悪法です。こんな悪法は、一刻も早く撤廃させなければなりません。

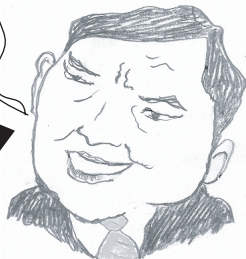
来年1月19日の名護市長選挙で新たな基地建設反対の立場を貫く稲嶺進市長を再選させるため、みなさんのご支援をお願いします。

秘密保護法は廃案に！の署名にご協力ください。

報道は抑制されるべき

デモはテロと同じ

こんな危険な人が推進



日本平和委員会

2013年12月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです

<http://j-peace.org/>

東京都港区芝1-4-9平和会館4階

TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277